

## ～ スポーツ合宿 ～

## 1. 交流事業の契機

宮之城町の代表的なスポーツとして、水泳とラグビーがある。全国大会出場も数多く、水泳では過去にオリンピック選手を輩出したほど盛んである。

スポーツ合宿の始まりは、18 年ほど前、地元高校のラグビー部父兄が、高校ラグビーを中心に合宿受け入れを行ったことによる。当時は、体育施設が整備されておらず、主に高校のグラウンドを使用した合宿が行われていた。その後、町の体育施設（グラウンド、総合体育館）が整備されるとともに、父兄の熱心な合宿誘致とラグビー部OBの協力により、年々合宿参加校が増加していった。

## 2. 交流事業の経過・概要

町総合体育館、かぐや姫グラウンドの整備が整った平成 4 年頃から、様々な競技種目の合宿が行われるようになった。

合宿参加校が急激に増加し、スポーツ団体等で合宿を受け入れることが困難な状況になったことから、受け入れ体制と競技施設の充実を図るため、町や各種団体の協力が必要不可欠となってきた。

そこで、平成 5 年度に、スポーツ合宿を誘致する体制を充実させるため、町や各種団体等で組織する「スポーツコンベンション推進協議会」が発足した。



ラグビー合宿だけでも毎年約 20 校が参加する



スポーツ合宿の練習風景

協議会では、「町おこし」「地域活性化」のチャンスとして、地域資源である温泉を活用した宿泊施設や体育施設の調整、昼食の手配等を受け持つ事務局の設置等、積極的な合宿誘致やスポーツ大会誘致に向けて動き出した。

### 3 . 交流事業の効果

近年では、高校ラグビー合宿だけでも、毎年県内外から約 20 校、600 人の参加があり、その他、サッカー、ソフトボール、バレーボール、テニス、水泳と様々なスポーツ合宿が年間を通じて行われている。今年は、合宿参加数が 62 校に及んだ。

また、コンベンションの一環として「スポーツ研修大会」が町内で開催されるなど、「スポーツコンベンションの町づくり」としての取り組みが少しずつ成果を上げてきている。

スポーツを通じた町への入り込み客の増加により、人と人、地域と地域、文化と文化の交流、社会教育の振興、商業や観光産業の活性化

が図られてきている。

### 4 . 交流事業の問題点と今後の展望

合宿参加校が増加する中、体育施設（グラウンド、体育館）の調整が難しくなりつつある。地域スポーツ行事との関連と併せ、サブグラウンド等の新設問題が生じてきた。

「町おこし」「地域活性化」へ向けた「スポーツコンベンションの町づくり」としてスタートしたばかりであるが、今後の展望として、様々な体制の充実を図りつつ、交流人口による町づくりを目指して、地域の特徴をだせるスポーツ合宿、地域をイメージアップさせるスポーツ合宿の展開へと進めていきたい。

今後更にスポーツコンベンションのまちづくりを推進し、町民とのふれあいの場、交流の機会を持たせることで意識の高揚を図っていきたい。